



(平成29年11月16日撮影)

細谷優子
伏尾朋子

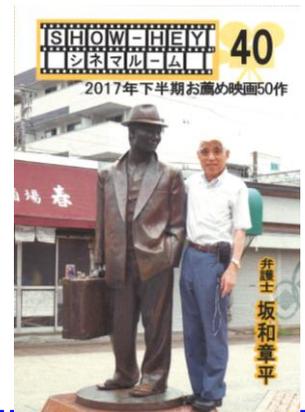
永田ひとみ
坂和章平弁護士

新見紀美子
坂和宏展弁護士



昨年6月の出版以降、好評発売中！
とりわけ、都市法の時代区分に
注目！（定価2,500円＋消費税）

『シネマ40』は、タイトルを少し変え、出版コードを取って書店とAmazonで流通させることに（定価1,200円＋消費税）。是非ご購入を！



新年明けましておめでとうございます！

- 1) 安倍晋三首相の決断による衆議院の突然の解散と10月22日の投開票。そこでは小池百合子東京都知事による「希望の党」立ち上げに始まる劇場型の面白い政治ドラマが展開されたが、結果は自民党の圧勝と野党の分断、そして結党50日後の小池代表の辞任だった。小池＝前原の「決断」（野望？浅知恵？）で踊らされた挙げ句、立憲民主、希望、民進の3党に分断されたセンセイ方の空虚な議論を連日テレビで見ていると、この国の未来はゼロ？希望の党が失望の党、絶望の党に変わって空中分解し、またぞろワケのわからない野党再編成が始まること必至だが、その新たなリーダーは？大阪維新も日本維新も橋下徹氏の再登板がない限り再浮上は無理。すると、大阪都構想は？大阪万博は？その実現可能性が薄れたのは仕方ないが、小池氏が都知事職も投げ出してしまえば、2020年の東京五輪もヤバイかも・・・？
- 2) 安倍首相とのゴルフ、銀座での鉄板焼きを手始めにアジア歴訪の旅をこなしたトランプ大統領の最大の任務は、ミサイルと核による北朝鮮の暴走を食い止め、朝鮮半島の非核化を実現することだったが、その成果は？今後の見通しは・・・？他方、いち早く環太平洋経済連携協定（TPP）からの離脱を決めたトランプ政権の東南アジアでの経済と貿易面におけるプレゼンスが低下する中、巨大経済圏構想「一帯一路」を中核とした中国の経済的進出は著しく、その影響力は加速している。昨年10月の第19回共産党大会で権力基盤を強め、長期政権への布陣を固めた習近平国家主席と日本はどう向き合えばいいの？今年は、こちらもさらに長期政権になりそうな安倍総理との「日中首脳会談」に注目！
- 3) 希望の党の失速と野党の空中分解は、小池氏の「排除」発言と憲法改正・安保法案への賛否を「踏み絵」としたため。それが通説だが、コトはそれほど単純ではない。そもそも、安保法制のあり方や憲法改正問題の中身をまともに語る国会議員はどれだけのの？また、多くの国民は知ったかぶりで情報を垂れ流す芸人コメンテーター

- ターの言葉をなぞっているだけではないの？そんな心配の中、16年夏に公開され、昨年11月にテレビ放映された『シン・ゴジラ』の視聴率が15%を超えたとのニュースにはひと安心。もっとも、映画では総理のヘリが墜落しても、若手官僚を中心とする官邸の危機管理能力の優秀さが強調されていたが、危機の原因が怪獣ではなく北朝鮮のミサイルや核だったら？3隻の空母打撃群の展開もあって、ロケットマンこと金正恩委員長もしばらく静観していたが、年末年始以降の動きは？さらに、あくまで北朝鮮との「対話」に固執する中国や韓国の動静は？偶発衝突か局地紛争かそれとも全面戦争かは別として、「朝鮮半島有事」のシナリオを現実問題として考えておかなければならない昨今、一人の日本人としてはもとより、法律家として今年はあるべき憲法、安保、災害法制をしっかりと勉強し提言していきたい。
- 4) 若手監督の育成と日本映画のアジア進出を目指して2014年に私が製作費の一部を出資した藤元目緒監督の『僕の帰る場所』が昨年11月3日の第30回東京国際映画祭でアジアの未来部門の国際交流基金アジアセンター特別賞と作品賞を受賞した。近時の乱発されている単純な純愛ドラマではなく深く考えさせるドキュメンタリーのような演出の映画だが、その大ヒットを期待したい。
 - 5) 昨年は、将棋界では14歳の藤井総太四段の驚異的な29連勝、囲碁界では井山裕太の七冠復帰等の明るい話題もあったが、他方では、神奈川で起きた座間9人連続殺人事件、神戸製鋼データ改ざん問題、日産自動車の無資格検査問題、横綱・日馬富士による酒席での貴ノ岩への暴行傷害問題等の暗い事件も多かった。しかして、平成もラストが近づいてきた今年はどうなる明るいニュースが・・・？日本の行方をしっかり見守りながら、今年も皆様のご健勝を心から願っています。

2018(平成30)年元旦(17年11月20日記)

坂和総合法律事務所

所長 弁護士 坂和 章平

1 弁護士業務

1) 再開発関係

◆草津市の北中西・栄町地区第一種市街地再開発事業は、平成29年10月5日に起工式が行われた。完成は2020年3月だ。地上26階建てのマンションを中心とする高層棟に加え、店舗、駐車場、サービス付き高齢者住宅（いわゆる「サ高住」）の4階建ての低層棟2棟を建築する、現代的な中心市街地活性化を目的とした再開発案件だ。京都・大阪への通勤にも便利な草津駅の駅近という立地だから、立派な再開発ビルの完成とにぎわいの創出に期待したい。

◆和歌山市の友田町4丁目第一種市街地再開発事業も、権利変換計画の認可後、地権者の補償契約や明渡しが完了し、既存建物の解体工事を開始。こちらもJR和歌山駅から徒歩4分という好立地。そこに地上20階建てのビルを建築し、同じ場所で地域住民から親しまれてきた大型の病院とスーパーがそのまま入居し、7階以上をマンションとして分譲する。建物の高さは和歌山市街地の分譲マンションとしてはNo.1（78.6m）になるから、親しみやすさを備えたランドマークになるはずだ。「まちなか」の都市機能再生、コンパクトシティのお手本のような再開発を期待したい。

◆このように再開発にかかわっていると、やはり市街地再開発事業は都市機能の更新、都市再生のために非常に優れた仕組みであることを実感する。かつて、バブル期に豪華さを競い合うように乱立した駅前再開発とは異なり、まちなかに人が定住しながら商業と公共施設を更新、充実させていくためにはこのような仕組みが必要不可欠だ。東京などの都心部では都市再生特別措置法に基づく特例だらけの巨大再開発が多数行われ、「一極集中」の様相を呈しているが、上記のような地方都市のまちづくりにも注目すべきだ。

2) 交通事故・一般事件関係

再開発関係の事件については章平を中心に処理を進めているが、特にこの1年間で、主に近畿交通共済協同組合からの交通事故事件については宏展を中心に処理する態勢が確立してきた。他の事件についても、土地の売買や建築に関する一般民事事件を引き続き多数処理している他、今年は大型の遺産分割事件が複数解決し、また離婚をはじめとする家事事件の複雑な処理が目立った1年となった。こうした一般民事・家事事件についても処理の中心が宏展になり、いよいよ世代交代が本格化してきた。新年からは佐野瀬奈弁護士という新戦力も加わるので、フレッシュな感覚を織り込みながら迅速的確に事件を処理していきたい。

3) オービック関係

章平が監査役、宏展が顧問弁護士を務めている株式会社オービックが建設を発表した御堂筋での店舗・オフィス・ホテルの複合ビルについても、5月9日に起工式が行われた。今年はオービックの創業50周年の年にあたるため、4月には東京、名古屋、大阪、福岡の各地で記念式典が開催される。今日までの立派な業績に拍手するとともに、今後とも皆様のご支援を受けながらその発展を支えていきたい。

2 出版関係

1) 新日本法規の加除式本

◆『わかりやすい都市計画法の手引』は、都市緑地法

の平成29年改正に伴う都市計画法の改正で新たに「田園住居地域」が用途地域に追加されたことをメインとする追録36・37号の原稿を執筆し、今年1月に発行予定。

◆『問答式 土地区画整理の法律実務』は、平成29年7月の名古屋での編集会議を経て、新設9問、その他の補正20問の原稿を執筆し、平成29年10月に追録43・44号が発行された。

◆『Q&A 災害をめぐる法律と税務』は、新設8問、その他の補正21問の原稿を執筆し、平成29年10月に追録45・46号、11月に47号が発行された。2)『シネマルーム40』はタイトルを少し変え、出版コードを取って、書店とAmazonで流通させることに。又吉直樹の『火花』が芥川賞をとって映画化され、ビートたけし初の恋愛小説『アナログ』も売れている今、私のシネマ本だって！

3) 民事法研究会の『都市計画法の読み解き方』（仮称）は全く進まなかったが、『まちづくりの法律がわかる本』（学芸出版社）が好評発売中の間に再度挑戦したい。

3 各種講演

1) 8月29日、豊中まちづくり・フォーラムで、『まちづくりの法律がわかる本』出版記念講演として「一番やさしい『まちづくり法』入門講座」と題する講演会を開催した。東京、神戸、奈良、高槻等から、過去に私が関与したまちづくりの仲間たちも参加。さらに中国人の友人たちも参加。寿司屋での2次会も含めて、有意義で活発な論議が展開された。

2) 11月17日、大阪市立大学都市問題研究会（COU）で「『まちづくりの法律がわかる本』から学ぶ、まちづくり法のポイントと視点」と題する講演を。

3) 11月22日、華人経済・経営研究会で「映画から見た中国社会の変貌と坂和的日中交流の楽しみ方」と題する講演を。

4 中国語の勉強

映画鑑賞の本数とその評論執筆の膨大なエネルギーを少し減らして中国語の学習を加速！時々そう考えるが実践は難しい。しかし、30冊超の単語ノートとNHKラジオ講座を使った勉強は楽しい。ひょっとして今年中には中国語検定2級の受験宣言があるかも？

5 健康問題

2015年9月の直腸ガン、翌年11月の胃ガンの摘出手術後は体調は順調に回復し、体重も55kgを超えて良好。帝国ホテルでのフィットネスも復活した。3カ月毎の血液検査、CT造影検査で転移がないことを確認。10月には胃と大腸の内視鏡検査をやり、新たなポリープやガンがないことも確認。「第二の人生」をしっかりと歩んでいきたい。

6 事務所体制

2014年4月以降はずっと親子二人体制だったが、今年1月からは70期の佐野瀬奈弁護士が入所。かつては「厳しい指導」が評判だった当事務所も今や日常業務のほとんどは宏展が処理しているため、今後は彼の下で実務の研鑽に励むことになる。その面での順調な成長を期待するとともに、都市計画関係の事件や執筆活動にも興味を示してほしい。宏展と事務局長の伏尾朋子とのコンビも絶好だから、そこに新人弁護士のパワーが加われば、事件処理の体制は万全だ。

葛飾・柴又で寅さん記念館と山田洋次ミュージアムを見学 (6/30) (写真は4頁)

1) 東京在住の映画友達の山田将治氏の車に乗せてもらって葛飾区柴又へ。まずは、駅前に建っている寅さんとさくらの銅像に並んで記念撮影。これは『シネマ40』の表紙になった。柴又帝釈天の境内に至る帝釈天参道には、昭和の香りいっぱいのレトロで懐かしい風情のお店がいっぱい。そこでは吉永小百合のプロマイドが販売され、力道山のプロレス放映も。

2) 寅さん記念館では、特別篇も入れて全49作に及ぶ『男はつらいよ』シリーズの思い出に浸りながら2人で楽しいおしゃべりを。山田洋次ミュージアムでは、

中学高校時代に観たハナ肇主演の『馬鹿』シリーズや倍賞千恵子のヒット曲を映画化した『下町の太陽』、近時の「時代劇三部作」、『母と暮せば』『母べえ』『小さいうち』『家族はつらいよ』等々の、寅さんとは全く違う山田監督の幅広い魅力を堪能した。10歳若い友人・山田氏との少し違う視点からの議論は楽しかった。

3) 帰り道では、故郷・松山の坊ちゃん団子と少し似ているが、味はずっと素朴な「とらやの草団子」を食べ大満足。夕方からは浅草の浅草演芸ホールで、ほぼ半日、落語、漫才、漫談等を楽しんだ。

上海中華少年団連合会訪問会 (7/10) (写真は5頁)

7月12日、安徽省の政府関係者を駐大阪総領事館の副総領事らが迎えた「熱烈歓迎安徽省海外联谊会訪日代表团」が開催された。私も中国人の友人・楊陽氏の紹介で出席し、関係者と温かい交流を深めた。そこでは思いがけず、私にも記念品の贈呈が！

中野貞一郎先生を偲ぶ会 (9/16) (写真は4頁)

阪大時代の恩師で民事訴訟法の大家、中野貞一郎先生を偲ぶ会に出席。1967年に入学し、学生運動に明け暮れながら4年生になり、民訴のゼミを選択したのが運命の分かれ道。以降、学生運動と手を切り、独学で司法試験の道へ。そのおかげで50年後の私がある。そんな恩師に大きな感謝を捧げつつ、91歳まで著作を書き続けた中野先生に拍手を送り、かつ少しでも見習いたい。

近畿交通共済との天神祭バーベキュー (7/28) (写真は4頁)

近畿共済の担当者たちが都島の自宅に大集合！夏の恒例となった、夕方は屋上でバーベキュー、その後は1Fでパーティという楽しい懇親会を開催。今年は中国の「白酒」を「おいしい！おいしい！」と言いながら何杯も飲む酒豪も現れて大いに盛り上がった。

米田弘幸・奈央子結婚式 (8/6) (写真は4頁)

2017年の正月に入籍を済ませた金沢在住の米田弘幸クンと長女・奈央子が金沢で結婚式を挙げる。その席で私は花嫁とバージンロードを歩くことに。弁護士同士の結婚なので、披露宴には金沢弁護士会の先輩、友人たちが多数出席。そして、大阪からは坂和家、菊谷家、牧野家の親戚一同が大集結し、2人を囲んで楽しい時間を共有した。仲良くお幸せに！

毛丹青氏・李淵博クン・孫農俊クンらとの交流 (7/14、7/18、8/16、9/26) (写真は5頁)

1) 7月14日、毛丹青教授の教え子たちの、上海での企業研修説明会を当事務所2階にある李淵博クンの会社で開催。JTBの担当者をはじめとする多彩な顔ぶれで、食事をしながら楽しい懇親会を深めた。イタリアからの中国語と日本語を操る留学生との議論ではその優秀さにビックリ！

2) 7月18日、NHKの「クローズアップ現代」で又吉直樹 vs 毛丹青の対談を実現させたNHKのディレクター中村宏幸氏の壮行会を最上層HEP通り店で開催。5月発行の『在日本』に2人の対談を掲載した李クンたちも交えて、4時間以上話が盛り上がった。

苦小牧で連チャンゴルフを3回 (写真は5頁) (7/30・31、9/10・11、10/3・4)

大腸ガンも胃ガンも早期発見だったため、摘出が終わり再発がなければ後は酒もゴルフもOK。そこで昨年は北海道の苦小牧で、仕事を兼ねた連チャンゴルフを3回も。暑い大阪とは大違いの快適さで親しい友人たちと楽しくプレイ。ちなみに今年7月に日本シニアオープンが開催されるニドムクラシックコースでは並み居るプロと同じような写真のスイングで私も参加！

喜安正秀君の出版記念会 (写真は5頁) 『海外ドサマワリ奮闘記』(6/25)

愛光中学・高校の同級生で定年まで竹中工務店に勤務した喜安正秀君が、海外26ヶ国での仕事ぶりをまとめた『海外ドサマワリ奮闘記-団塊世代の海外体験記と次世代へのメッセージ』を出版。6月25日に開催された出版記念会に出席し、お祝いの言葉を。

愛光学園関西9期会 (10/17) (写真は5頁)

5月27日に、愛光学園卒業50周年の記念大会を大阪で開催した9期の面々は、関西9期会を年4回開催している。10名弱の常連参加者の会話はいつも濃密！写真は10月17日にお馴染みの最上層で開催したもの。全員満足感と充足感でいっぱい！

北中西・栄町地区 施設建築物新築工事 起工式 (10/5) (写真は5頁)

JR草津駅のすぐ近くで施行中の北中西・栄町地区第一種市街地再開発事業の起工式に出席。徳島の新町西地区の再開発とは大違いで、この起工式には草津市長も出席。今年3月に権利変換計画の認可を受けた本事業では、地上26階、地下1階の高層棟などが2020年3月に完成するので、大いに期待したい。

3) 8月16日、中国で結婚式を挙げた孫農俊クン夫妻が京都方面に旅行に来た機会に、最上層で新妻と共に食事を。花婿、花嫁の両出身地で行われる中国式のド派手で盛大な結婚式の報告を聞いてビックリ！

4) 9月26日、毛丹青老師、李淵博クンたちと最上層で会食。毛丹青主筆、『在日本』プロデュースで、ねこの駅長「たま」を主人公にした『猫味站长 小玉』の日中対照本を出版。毛老師のTシャツの胸に描かれたかわいい小玉がその主人公だ。このキャラは日本人もお馴染みで面白い！そのため、何と映画化の企画も進行中だ。さあ、その展開は？展望は？乞うご期待！

葛飾・柴又で寅さん記念館と山田洋次ミュージアムを見学 (6/30)



柴又駅前寅さんの銅像と並んで



粋なイデタチの寅さんと並んで



お店の茶の間で居眠りしている寅さんと並んで



寅さんがいつも戻ってくる「とらや」は草団子が名物

中国中継会海外分団総会 (7/12)



私にも記念品の贈呈が



全員揃って記念撮影



学問の恩師の業績をかみしめながら、合掌



近畿交通共済との天神祭バーベキュー (7/28)



屋上でバーベキュー。北海道直送のジンギスカンをみんなで舌つつみ



1階パーティールームで全員集合

米田弘幸・奈央子結婚式 (8/6)



坂和章平夫婦と宏展夫婦 (長女・美咲も)



花嫁の父としてバージンロードを



神父の前で指輪の交換



ウエディングケーキ入刀

毛丹青氏・李淵博くん・孫農俊くんらとの交流 (7/14、7/18、8/16、9/26)



<7月14日>毛丹青老師の多くの教え子たちと。映画本は大好評!



イタリアからの留学生も!



<7月18日>NHKの『クローズアップ現代』を話題に真剣な議論を!



<8月16日>孫くん夫妻と一緒に



<9月26日>ねこの駅長「たま」の映画化が始動!



日中対照本『ねこの駅長たま』(『在日本』別冊)

苫小牧で連チャンゴルフを3回 (7/30・31、9/10・11、10/3・4)



7/30 北海道GCにて



9/10 苫小牧GCにて



9/11 早来CCにて



10/3 ニドムクラシックコースにて



喜安正秀君の出版記念会
『海外ドサマワリ奮闘記』(6/25)



喜安君と並んで



「出版の先輩」としてご挨拶

愛光学園関西9期会
(10/17)



お店のアイドルを真ん中に8名の参加者で。全員同じ68歳!

北中西・栄町地区
施設建築物新築工事
起工式 (10/5)



起工式にて再開発ビルの完成写真を手に

トピックス 徳島地裁は請求棄却の不当判決！控訴審の行方は？

1) 徳島市・新町西地区市街地再開発事業の権利変換計画不認可処分を求めた再開発組合 v s 徳島市の訴訟は、平成29年9月20日に徳島地裁で判決が言い渡された。勝訴率の低い行政訴訟も、これだけ市の対応が理不尽な事案であれば勝てるのでは、と期待したが、結果はそっけない敗訴判決。3月の市長選挙で市長が交代するや、「再開発は白紙撤回」の公約どおりに、市が主導してきた事業を文字どおり「ちゃぶ台返し」したにもかかわらず、判決は組合や地権者に何の配慮もない、行政追従の不当なものだった。

2) 組合や地権者には損害賠償が認められる可能性があるがその中身は全くなく、リップサービスでしかない。事業の最終局面たる権利変換計画の認可段階で市長にすべてをひっくり返せるような権限を認めたこんな判決が確定しては、地裁判決とはいえ、全国の他の再開発事業に悪影響が及ぶ。そう考えた私は直ちに控訴し、高松高裁で再度審理を！ と考え

たが、それには依頼者たる組合に控訴するだけの気力・体力・経済力があることが前提だ。

3) さらに重要なポイントは控訴審で原判決を覆して勝てるのか否かだが、それは全く不明。ヘタに勝てる！と利益誘導するわけにはいかないから、「勝てるかどうかは全く不明。もう一度バクチをやるか否かだ」と正直に問題点を説明したところ、組合員たちの議論は、「控訴審では和戦両様の構えで・・・」となったからアレ？さらに「控訴はするが、控訴審は別の弁護士に依頼する」ことになったから、さらにアレ？

4) 去る10月22日に投開票された衆議院議員総選挙の結果を受けた希望の党と民進党の混乱ぶりは目を覆うばかりだが、敗訴判決を受けた組合の混乱も似たようなものだ。その結果、私が控訴審を受任しないことになったのは実に残念だが、今後は外部からその行方を見守っていきたい。もちろん前向きな解決を希望しているが、さてその行方は？

坂和宏展弁護士の近況報告

1) 一昨年生まれた子供も早いもので2歳になり、日々の成長には驚くばかりです。夫婦共働きの中の育児・家事に楽しくも忙しい毎日を送っています。子供も保育園での生活に慣れてきてくれたようで、同年代の子供達や保育士の先生方に囲まれた生活は刺激があり成長にいい影響を及ぼしているのではないのでしょうか。

2) 業務の面でも、昨年1年間を通じて本格的に事務所の中心として案件を処理するようになり、より一層責任を感じる立場となりました。現在は、都市計画・再開発に関する大型案件が少し落ち着いてきた一方、交通事故事件を中心に一般民事・家事事件については順調に依頼をいただき事件数も増えてきました。弁護士としては10年を超え、年数では中堅の域に入ってきたと言いたいところですが、何年やっても何件処理しても新たな疑問や悩みは尽きないものです。経験に慢心することなく、常に新しい問題と向き合い、より

望ましい解決策を模索し続けることが大事だと自分に言い聞かせながら事件と向き合う毎日です。

3) 今年から新たに佐野弁護士が入所することになりました。彼女とは受験生時代から縁がありよく知っていましたが、根気よく努力を続けることができる粘り強さと人柄のよさを併せ持った期待の人材です。もちろん、最初から何でもできるということではなく新人らしい失敗もすることでしょうが、それは誰しも同じです。私もこれまでのような中間管理職的な立場ではなく、事件処理の面では事実上の「ボス弁」として指導していくこととなります。それだけ私の責任も重くなりますが、彼女にはしっかり経験を積んでもらい貴重な戦力になるべく頑張ってもらいたいと思います。

4) 今年は、事件処理だけでなく事務所全体の運営についてもより大きな役割を担うことができるよう頑張りますので、よろしく願い申し上げます。

新人弁護士・佐野瀬奈（さの せな）の自己紹介

1) 平成30年1月から当事務所で弁護士として勤務することになりました、佐野瀬奈です。司法試験受験後、坂和総合法律事務所で事務員としてアルバイトをしたことをきっかけに入所させていただくことになりました。弁護士を目指した理由は、学生の頃に将来は何か専門的な職業に就きたいと考えていたところ、当時ドラマやバラエティ番組で弁護士や法律を取り上げるものが多く、興味を持ったからです。私は事務員としての勤務を開始した当初は交通事故案件にそれほど興味を持っていた訳ではありませんでした。しかし、当事務所で働く中で「交通事故」と一口に言ってもその内容は様々であり、決して定型化できるものではないと知り、奥深さを感じたため積極的に取り扱いたい分野であると考えようになりました。

2) また、私は女性弁護士の需要があると言われていた家事事件にも興味があります。家事事件を取り扱いたいと思った理由は、家事事件が誰の身にも起こり得る事件であることや、依頼者の人生を左右する大きな出来事を扱うという意味で、依頼者に深く関わること

のできる事件であり、それだけやりがいがあると考えているからです。坂和事務所は他にも様々な分野の事件がありますので、どのような案件にも対応できるよう日々勉強しなければならないと思う一方で、様々な事件に触れることができることは楽しみでもあります。章平弁護士、宏展弁護士それぞれの長所に学び、1日も早く、依頼者の皆様に安心して事件を任せたいだけの弁護士になりたいと思っています。

3) 私は読書や映画鑑賞、テニス、お酒等たくさんの趣味があります。司法修習中は新たに美術館巡りにはまり、様々な国や時代、手法の絵に触れました。今後も公私を問わず新しいことにどんどん挑戦し、視野の広い人間になりたいと思います。司法試験の受験勉強中もその後の司法修習においても取り組むべき課題が多くあり、課題に追われる日々でしたが、これからまた一から研鑽を積む必要性を肝に銘じ、目の前の仕事に全力で取り組んでいきたいと思っています。

4) まだまだ未熟ではありますが、何卒ご指導ご鞭撻のほど、よろしく願い申し上げます。

＜裁判モノ3作＞

①『三度目の殺人』(是枝裕和監督、福山雅治、役所広司)

「弁護士は、依頼者を守るために徹底的に向き合います」と掲げて大阪弁護士会が応援したのが、福山雅治と役所広司の拘置所内での対決をメインに描いた本作。「弁護士と殺人犯。向き合うほどに真実は逃げ続ける」という悲しい現実の中、真実の発見は？法廷は真実発見の場なの？そんな根本的問いかけに、あなたはどうか答える？

②『HER MOTHER』(佐藤慶紀監督)

「娘を殺した死刑囚との対話」をサブタイトルにしたちょっと難解な映画が本作。我が娘を娘婿が殺したのは一体なぜ？母親はそれを赦せるの？そんなはずはないが、宗教に走った父親は？法廷ドラマは少し雑だが、人間ドラマは奥深い。最後のドタバタ劇の是非を含めて議論したい。

③『裁き』(インド映画、チャイタニヤ・タームハネー監督)

近時は「歌と踊りのボリウッド」を越えた活況が続くインド映画に本格的法廷モノが登場！インドには、平和と民主主義を享受する日本人にはわからない明確なカースト制度による差別がある。最下層の下水清掃人が自殺したのは、民衆詩人が集会で扇動的な歌を歌ったため？すると、その詩人は自殺幇助罪？インドの法廷の姿もそこでの手続も興味深い、何よりもそんな起訴事実ビックリ！

＜戦争モノ3作＞

①『ハクソー・リッジ』(メル・ギブソン監督)

沖縄戦では「ひめゆり部隊」が有名だが、あなたは「ハクソー・リッジの戦い」を知ってる？また米国には、兵器を持つことを拒否しながら衛生兵として良心的兵役拒否を貫き名誉勲章を授与された若者がいたことを知ってる？この展開はホントにホント？そんな疑問も残るが、こりゃしっかり勉強しなくちゃ。

②『ダンケルク』(クリストファー・ノーラン監督)

ノルマンディへの上陸作戦を描いた『史上最大の作戦』(62年)は連合軍の物量作戦が圧倒したが、「史上最大の撤退作戦」たる「ダンケルクの戦い」に見る英仏軍は絶望的。40万の兵士は陸・海・空からのドイツ軍の猛攻を前にいかにしてイギリスへ逃げるの？名誉の戦死？それとも恥も外聞もなく敵前逃亡？そんな日英の価値観の

相違をしっかりと確認したい。

③『関ヶ原』(原田真人監督、岡田准一、役所広司)

天下分け目の関ヶ原。若い時に夢中で読んだ司馬遼太郎の長編を1本にまとめた構成力はさすがだが、黒澤明監督の『影武者』(80年)、『乱』(85年)と比べた戦闘シーンは如何に？総選挙で赤裸々に示された政治家たちの義の喪失には啞然だが、義に殉じた武将石田三成、島左近、大谷刑部らをあなたはどうか評価？

＜日本の若手監督にも注目！＞

①『ブランカとギター弾き』(長谷井宏紀監督)

若者の「内向き志向」と「ひきこもり現象」が顕著な昨今だが、こんな例外も！モノにあふれた日本と対極の社会、モノはないがヒトを大事にしている国フィリピンの路上で暮らす人々の生活とは？心温まる老人と少女のロード・ムービーに拍手！

②『幼な子われらに生まれ』(三島有紀子監督)

離婚や子供の親権養育をめぐる紛争が増えているが、「女は2人の娘を連れた再婚。男は娘の親権を前妻に渡しての再婚」となると、かなり複雑。そこで更に「幼な子われらに生まれ」となると・・・？年頃になった連れ子が父親に対し「やっぱりこのウチ嫌だ。本当のパパに会わせてよ」と言ってきたところから物語がスタート。さて、大人たちの懸命な努力は如何に？そして、赤ちゃんが生まれてくる中、家族たちの結末は？

＜原発問題をこの2作から＞

①『STOP』(キム・ギドク監督)

韓国の鬼才キム・ギドクが福島第一原発事故の5km圏内に入り、監督・脚本・撮影・編集・録音・配給まで一人で大活躍！放射能汚染による奇形児誕生のリアルさには思わず目を背けたが、邦画ではありえない設定と問題提起の凄さに啞然！

②『彼女の人生は間違いじゃない』(廣木隆一監督)

東日本大震災の津波で母親を失ったみゆきは、なぜ毎週夜行バスで渋谷まで通いデリヘル嬢を？自暴自棄に陥った父親との仮設住宅での同居がイヤなのは当然だが、そんなヒロインの生きざまをどう評価？男にはちょっとわかりづらいが、これはこれでOKかも・・・。



◆ 業務時間 ◆
平日 午前9時～午後6時
土曜日 午前9時～午後3時
(業務時間外の相談をご希望の方はお申し出下さい。)

- * 相談に来られる際は日時の予約をしていただき、関係資料を一式持参して下さい。
- * また相談内容のメモを事前にFAXもしくはメールにていただければ幸いです。
- * お車で来られる方はアクセスマップ(車・タクシー用)を参照して下さい。
事務所のホームページ
<http://www.sakawa-lawoffice.gr.jp/sub1-3-2007chizu.pdf>
から印刷して下さい。お電話をいただきましたらFAXします。

弁護士兼映画評論家 坂和章平の出版物の紹介

〈まちづくり本、法律書〉



(96年5月)



(01年6月)



(03年9月)



(04年11月)



(05年4月)



(07年7月)



(08年4月)



(15年11月)



(17年6月)

〈実況中継シリーズ全4冊〉



(03年7月)



(12年4月)



(00年7月)



(02年9月)



(04年6月)



(06年9月)

〈その他〉



(04年5月)

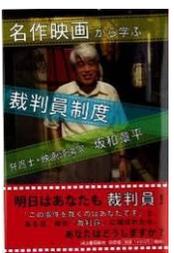
〈コラム、生き方、中国語本〉



(05年8月)



(13年12月)



(10年3月)



(10年12月)



(09年8月)



(12年8月)



(05年10月)

〈『シネマルーム』シリーズ〉



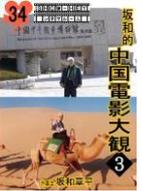
(13年12月)



(14年7月)



(14年12月)



(14年12月)



(15年7月)



(15年12月)



(16年7月)



(16年12月)



(17年7月)



(09年5月)



(09年8月)



(09年12月)



(10年7月)



(10年12月)



(11年7月)



(11年12月)



(12年7月)



(12年12月)



(13年7月)



(07年2月)



(07年6月)



(07年10月)



(07年10月)



(08年2月)



(08年5月)



(08年6月)



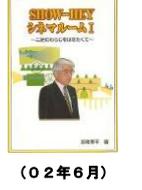
(08年9月)



(08年10月)



(09年2月)



(02年6月)



(03年8月)



(04年4月)



(04年11月)



(04年12月)



(05年5月)



(05年10月)



(06年2月)



(06年7月)



(06年11月)